

花巻市東和地域協議会
平成24年度第2回会議記録

日 時	平成24年9月27日(木) 13:30~15:20							
場 所	東和総合支所1階 第1会議室							
委 員 名	役職	氏名	出席	欠席	役職	氏名	出席	欠席
	委員	菊池 隆耕		○	委員	下坂 淳代		○
	委員	下林 郁男	○		委員	猿舘 祐子	○	
	委員	平野 保	○		委員	小田島 忍	○	
	委員	小原 宏	○		委員	日下明久美		○
	委員	吉田 英雄	○		委員	晴山 准子		○
	委員	赤坂 學	○		委員	川村 哲夫	○	
	委員	小川 洋征	○		委員	藤井 公博	○	
出席職員	防災危機管理課 八重樫和彦課長 地域づくり課 佐藤正眞課長、阿部勇悦係長、八重樫尚孝副主任 東和総合支所 赤坂謙支所長、市民サービス課 藤井正昭課長 地域振興課 多田潤課長、青木力三地域支援監、藤根幸生補佐、佐藤健係長、伊藤精一主査							

司会：藤根補佐

1 開 会 (司会)

※ 出席者過半数により会議が成立することを報告

2 会長あいさつ (小原宏委員)

本日は、お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。会議に先立ちまして一点ご報告申し上げておきます。花巻市の大石市長から花巻市総合計画審議員というのを委嘱されました。引き続き地域協議会の会長が委員として任命を受けて、それに出席することにいたしますのでよろしくお願い申し上げます。

本日の会議ですが、自主活動として自主防災組織の現状と課題について、それから県立中部病院連絡予約乗合タクシーについて、本庁の担当課方々がおいでになっていますので、ご説明をいただきながら勉強会、並びにご意見を申し上げることにしたいと考えております。最後に、旧東和高校の跡地利用計画について、総合支所からご報告をいただくことで、進めてまいりたいと思います。よろしくお願い申し上げます。

※ 地域振興課長から、本庁から出席した防災危機管理課及び地域づくり課の職員を紹介

3 自主活動

(1) 自主防災組織の現状と課題について

小原宏会長

防災危機管理課の課長さん、よろしくお願いします。

八重樫和彦防災危機管理課長

現在の市内の状況について説明したいと思いますが、9月1日現在の資料ですけど、156の組織が登録されております。市内3万5千世帯で割りかえますと、69.2%という状況です。また27コミュニティ地区別については下欄のように、それぞれお取り組みいただいております。本日支所から出していただいた資料にも、東和地域の現状がありますが、今年度4地区で組織化がなされまして、現在8組織でございます。組織率は世帯数でいくと35%程ということでございます。

しかし、東和地域では婦人消防は各行政区きちっと揃っているし、消防団を支える後援会もある、自治会の中には防災部門があってちゃんと取り組みしている、という話を聞いております。そこで一つお願いしたいのが、自治会を防災組織として届け出をいただければ、その網羅している世帯分の率が上がりますので、支所を通じてこれからの取り組みについてご相談していきたいと思っております。

震災後に、自主防災組織についてアンケートを取りましたところ、組織は作ったけども何から始めたら良いかわからない、まだ組織化されていないところからは、どういうふうな組織を作ったらいいのか、疑問点があげられましたので、一つのガイドラインをお作りして、それをもとに私ども地域に出向いて説明して歩きましょうということで作ったのが、自主防災組織等ガイドラインという資料でございますので、以下この資料で要点を申し上げていきたいと思っております。

まず自主防災の第一歩は、組織を作ることということでお願いしていきたいと思っております。難しいことはない、すでにある組織を使っただけという方法が一番有効ですし、市で規約のひな形とか活動のマニュアルなども作っておりますので、そういったものを参考に地域で話し合っていたいただきたいということでございます。

実際に立ち上げていただきますと、何から始めるかということでございますが、わたくしどもが常々地域に入ってお話をさせていただいておるのは、平常時の活動が二つあります。資料の平常時の活動の(2)にあります、安否確認ということをやする仕組みを整備してほしいというのが第一点です。もう一つは(3)にあります、災害があった時、助けなければならぬ方をどうして助けてあげられるか、誰が助けてあげられるのかというところを、地域でお話し合いをしていただくのが二点目でございます。

資料3ページの上のところ、市の福祉行政の方では社協さんの力をいただきながら、災害時要援護者台帳の登録の手続きを進めております。今後登録していただいた情報につきましては、災害時に防災活動にのみ使うという条件で、市と自主防災組織の協定をさせていただいて、情報提供するという進めております。

さらに、資料の4ページ、5ページの災害時にはどうということをするのかということでございますが、平常時に作ったしくみ、そして訓練をしておいて、あるいはマップにその情報を把握しておいて、それを災害時に実際に使うということに尽きるわけでございます。

4 ページの下の方に、避難所解説のイメージということで絵を描いてありますが、逃げなければならない状況か、逃げる先が地震で大丈夫か確認できた場合に、自主的に避難をいただくということなんです。逃げなければならない状況に応じて、臨機に対応をお願いしたいというのが一時避難所でございます。一時避難所に避難していただければ、必要な物資については市の方で支援をさせていただくという考えをしております。長くなるような場合、人数がそうそう多くない場合は、27 振興センターを拠点避難所と、いわゆるそこに情報を集めて市がお世話する場所としています。災害が大きくて、すぐにも100人を収容しなければならないとかであれば、学校ですとか体育館ですとかそういう大きな施設に、市の方で誘導します。

それから、地域に出たとき皆さんにお願いしていることは、三日分の水・食料を何とか各ご家庭で備えておいてほしいということを申しております。

最後に、組織化に向けての課題ということをもとめさせていただきますと、冒頭申しましたように、そうそう難しく考えていただかずに立ち上げの準備、手続きをご検討いただければありがたいなと思っております。

以上、自主防災組織の現状と課題についてのお話をさせていただきました。

小原宏会長

ありがとうございました。ご質問を承りたいと思います。

藤井公博委員

要援護者台帳についてですが、私ども障がい者団体としては団体に加入している会員には、積極的に名乗り出てほしいと運動を行っております。また、これは地域に戻った話ですけど、年末年始の大雪の時に3.11があったらどうなるか考えて、除雪する機械を持っている人に登録してもらおうという取り組みをやりました。もう一つ障がい者の立場でお願いしたいのは、安否確認の時に、特に聴覚障がい者がいるところに行ったときに、紙と鉛筆を持って歩いていただきたいと、県のマニュアルの委員会の時に障がい者から意見が出ていましたので、花巻のガイドラインも、いろんな訓練をやることによって、ガイドラインのメンテナンスも必要となってくるといいますから、そういうことを一つお願いしておきたいと思っております。

八重樫和彦防災危機管理課長

これから見直す中で常に加除しながらやっていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。

小田島忍委員

自主防災組織に登録することにより、活動しやすいとか、援助とか何かあるのですか。

八重樫和彦防災危機管理課長

防災組織がないと、こちらとして確認するために、区長さんとか民生委員さんとかを通じるとかということになります。やらないわけではないですが、防災会でそういう仕組みがあ

ると、直接防災会長さんに問い合わせれば情報が集まるということです。また、宝くじ助成で、自主防災組織への補助金が出せる事業もあります。

赤坂學委員

届出について目標年度はあるのですか。

八重樫和彦防災危機管理課長

本年度の目標値としては70%としております。現在の総合計画においては、平成27年度の到達点で100%を目指して頑張っていきたいと思います。

赤坂學委員

花巻市の防災組織としての特徴はあるのでしょうか。

八重樫和彦防災危機管理課長

大迫地域の内川目や外川目では、コミュニティ単位で一本の組織を作っております。

赤坂學委員

市全体の防災組織が協力して、全体訓練を計画していますか。

八重樫和彦防災危機管理課長

将来的に組織化が進んでくれば、そういうことがなされれば良いと思います。

小原宏会長

この件につきましては、今日のところはこれで終わりたいと思います。課長さんありがとうございました。2時半まで休憩します。

小原宏会長

会議を再開いたします。県立中部病院連絡予約乗合タクシーについて、地域づくり課長さんからよろしく願いいたします。

佐藤正眞地域づくり課長

これにつきまして、担当の八重樫の方から説明させていただきます。

八重樫尚孝副主任

お手元の資料をご覧ください。これまでの経過ということでご説明させていただきます。21年4月に県の医療改革の一環の中で、市内にありました花巻厚生病院と北上にありました北上病院が統合いたしまして、北上の村崎野に中部病院という形で移転統合いたしました。これに際しまして、議会や地域の説明会におきまして、交通手段の確保ということで要望がたくさん寄せられたところでした。

その中で、花巻市では様々な交通手段を21年4月から準備して運行したところでございます。一つは県交通の石鳥谷線というのが石鳥谷から北上駅まで向かっていたものを前線乗り入れ、あとは大迫から花巻駅まで来ておりましたバスを中部病院まで延伸と、あとは乗り入れの不便な地域ということで、花巻の西側分、太田、笹間、あとは東和という形で、一度花巻駅まで北上しなければ中部病院まで行くことができないというような地域を対象に、直通の予約乗合タクシーを運行してございます。そのほか、東和地域につきましては、浮田線が三坊木まで運行してございましたので、それから村崎野駅を経由いたしまして、中部病院までというものを運行してございました。

この計画を実施するにあたりまして、パブリックコメントや地域協議会の皆さんへの諮問答申という形をいただいたところだったんですが、まず、21年22年は試験運行といたしまして、1便当たり2人を切った場合には運行を見合わせますよという形の計画でスタートさせていただきました。平成23年度以降、公共交通の中期実施計画ということで見直しを迫られていた中で、22年の9月にアンケート調査を全世帯にさせていただいたんですけども、やはり自家用車があるという意見が大半を占めました。実施計画の中で再度2年間継続していきましょうというような計画で、23年の1月20日でしたが、地域協議会へ素案の説明という形でさせていただいたところでございます。

この中期実施計画では、東和からは市営バス浮田線の延伸が実績として、1便当たり0.3人、東和の予約乗合タクシーが22年度実績で1.6人ということで、どちらも1便当たり2人に達していなかったという状況がありましたので、であればこの二つを統合させていただくという案で説明させていただいたところでございました。地域協議会へ説明させていただいた後、各振興センターの方で素案の説明と中部病院の予約乗合タクシーの継続ということで、説明会を6会場で開催させていただきましたところ、54名の方の出席ということでございます。

その後、中期計画が決まりまして平成23年8月ということで、見直しの2カ月前になりますけども、運行状況ということと見直しについてということで、また各地区の説明会を開催いたしましたところ41名の参加ということとなっております。見直しの内容といたしましては、これまで市営バスが週2日、月曜日と木曜日3往復ですね、あと病院のデマンドが週2日、火曜日、金曜日が1日3往復走っていたものを、病院デマンドに統合させていただいて週3日、1日3便ということで見直しをして、試験運行をさらに23年度、24年度ということで継続させていただくという形を説明させていただいております。やはりこれにつきましても1便当たり2人未満だった場合は、25年度以降の試験運行は止めますよと明記した形で説明させていただいております。

次のページをご覧ください。これまでの利用実績はこのようになっております。21年度以降1便当たり2人というのは達しなかったというような状況になっております。

今後の方向性といたしまして、これまで試験運行を行っておりましたが、24年度末をもって廃止させていただくというようなことを予定しております。理由といたしましては以下の3つを挙げさせていただいております。

中部病院につきましては、中部医療圏の広域医療機関ということで2次医療機関という位置づけになっております。そういった中で、ほぼ予約しないと受診できないという声を聞き

ますので、多くの方が自由に使える病院ではないという状況になっております。二つ目といたしましては、計画に乗っ取って1便当たり2人未満という状況もございますので、廃止するという事で進めさせていただきたいと思っております。三つ目といたしまして、これまでの医師不足や医療機関の棲み分け、役割分担などから、まず最初にかかりつけ医をもっていただくという形を市では進めております。そういった中で、かかりつけ医までの交通手段は予約乗合タクシー等で確保していきたいという事でございます。

今後、各コミュニティ会議の役員さんにご説明させていただく席を準備しておりますので、そういった中でご意見等をいただきながら進めさせていただきたいと思っております。

小原宏会長

ありがとうございます。ご質問を承りたいと思っております。

小田島忍委員

石鳥谷と大迫の延伸のデータはありますか。

八重樫尚孝副主任

延伸路線ですので、どこからどこまでによって参考数値にしかならないと思いますが、1便当たり2.5～3くらいは、というのはですね、花巻駅から中部病院間をですね、法務局や南花巻病院を通過ございまして、そういったところで人数がある程度カウントできているのだと思います。

小原宏会長

大迫から中部病院まで行くお客さんの資料はありますか。

八重樫尚孝副主任

乗車人数でしかとっていないので、実際に乗ってみたいとわからないところがあるんですが、実際盛岡の方とか日赤とかの受診もあるかと思っております。

平野保委員

福祉の方では予約タクシーというのがあってですね、デマンドバスも福祉政策として一本化して充実ということを検討されたらいかかと思っております。

佐藤正眞地域づくり課長

いろいろお話をお聞きしながら、コミュニティの役員会などにも出させていただきまして、こういう現状でございまして、病院の性格も認識していただいたと思っておりますので、地域内のデマンドの方でどう対応していくかとか、そういう形の方で進めてまいった方が良いのではないかと思っておりますので、よろしくお願ひします。

小原宏会長

予約乗合タクシーの状況の方はどうなっていますか。

八重樫尚孝副主任

通常のデマンドの利用実績ですが、22年度の利用実績が1便当たり6.1人、総利用者が2,260名おりました。23年度は総利用者が5,892名、1便当たり6.6人ということで、0.5ポイント上がっております。利用が顕著なのが南地区（浮田・谷内・田瀬振興センター）で、特に田瀬の方が多く利用していただいております。

小原宏会長

大迫から東和病院までの山越えのバスの方はどうでしょうか。

八重樫尚孝副主任

こちらでも以前考えたことがございまして、東和まで望みますかというアンケートを取ってみたところ、割合が高くなかったというところがございます。

小原宏会長

予約乗合タクシーについては、これで終了とさせていただきます。ありがとうございました。それでは、3番の旧東和高校の跡地利用計画について、よろしくをお願いします。

多田潤地域振興課長

前回の会議の中で調査するというので約束しておりましたので、ご報告を申し上げます。まず、花巻市として旧東和高校の施設の利活用の基本方針があるかないかということで、秘書政策課の方に照会してみました。現時点では基本的な方針はないという回答でした。

では県の方ということで、岩手県として旧東和高校施設の利活用の基本方針等何かあるかということで、北高に照会した結果、いまの施設は、統合後教育財産から知事部局の管理施設に移管されているということです。それからもう一つはですね、貸出の関係でございませぬけど、建物の中の電気、水道はすべて止めているということで、建物は使用できない状況で貸し出しはしていない。ただし、グラウンドだけは基本的には貸さない方針で、しかし、諸般の事情により無償で貸しているという回答をいただきました。そこで、基本的な方針はあるのかと聞いたところですね、統合当初から売却を基本とするという方針があったようでございます。以前には、購入の引き合いが1件あったようですが、その後どうなったかはわからないということでした。

赤坂謙東和支所長

最初に市で買わないかという話があつて、市では買いませんよと返事を県に正式にしたんです。1件の引き合いというのが医療系の専門学校と聞いております。

吉田英雄副会長

学校法人が一番いいですよ。グラウンドから体育館からそっくりそのまま使ってくれる。

耐震もやっているし何一つも問題はない。ぜひ学校法人を誘致してほしいと思います。空港もある、新幹線もある、インターも近くにある、まったく地の利を得ている。町も疲弊化しているということから若者の声が聞こえる町を構築してほしいと思うんだけど、県がそのような姿勢では話にならない。

赤坂謙東和支所長

最初に市で買わないかという話があつて、市では買いませんよと返事を県に正式にしたんです。1件の引き合いというのが医療系の専門学校と聞いております。何か所か候補地として見ているという話もあるので、あまり騒がれてもと思いますので、ちょっと内々には探ってみたいと思います。

小原宏会長

3番の旧東和高校の跡地利用計画については、ご報告をいただいたということにしたいと思います。

次回も、自主勉強会を引き続きやっていきたいと思います。私の方から賢治まちづくり課というのができた話を聞き、これについて勉強するということがいかがでしょうか。

4 その他

小原宏会長

次回も、自主勉強会を引き続きやっていきたいと思います。何を取り上げてほしいかということにつきまして、皆様からご意見がございましたらお願いいたします。私の方から提案したいのは、賢治まちづくり課というのができた話を聞き、これについて勉強するということがいかがでしょうか。それを取り上げてみてもよろしゅうございますか。

委員一同

はい。

多田潤地域振興課長

去年もやったんですが、コミュニティ代表者との意見交換会をやる機会があってもいいのではないかと考えていました。

赤坂謙支所長

地域課題ということで、コミュニティ会議の中身の話と委員さん方との共通理解ということで、お願いできないでしょうか。

多田潤地域振興課長

今回は、この二つで組んで設定いたします。

5 閉 会（司会）